

「土呂久に集まれ!」新聞



GO_TO_TOROKU

令和7年度8月号(第4号)

Instagramもフォローしてね!!



発行 宮崎国際大学教育学部「土呂久に集まれ!プロジェクト」
(<https://sites.google.com/sedu.miu.ac.jp/torokuniatsumare/>)

作成 教育学部2年 学籍番号 20242011 橋本幸汰

みなさん、こんにちは!「土呂久に集まれ!」新聞です。厳しい暑さが続いています、体調を崩されていませんか?

今月の「土呂久に集まれ!」プロジェクトの活動を、紹介していきます。

土呂久訪問

私たちは、8月、夏休み真っ只中に土呂久地区を訪れました。日が照っていましたが、土呂久に近づくにつれて空は厚い雲に覆われ、やがて大粒の雨が降り始めました。

けれど私たちは雨の中、土呂久さくら公園の草刈りをする予定で、かっぱを着て準備万端で集まりました。公園には草が生い茂っていて、「さあ、やるぞ!」と気合いを入れたのですが……そのとたん、空からゴロゴロと雷の音が……。安全のため、残念ながら草刈りはできませんでした。自然の力にはかないませんね。次の機会に、みんなで力を合わせて取り組みましょう。



雨の中を歩く工藤康太(2年生)



草が生い茂る土呂久さくら公園

同日に、土呂久の地域の方々と、打ち合わせを行いました。

この場では、秋に行く「紅葉祭り」や、冬に行く「本活動」(桜の下に集まる活動)など、これからの大きなイベントの計画を立てました。

どちらもとても楽しいイベントですので、今から当日が待ちきれません！地域の人々と力を合わせて、忘れられない思い出を作っていきましょう！

またこの機会に、「土呂久に集まれ！」プロジェクトのウェブサイトのマニュアルを、地域の皆さんにお渡ししました。

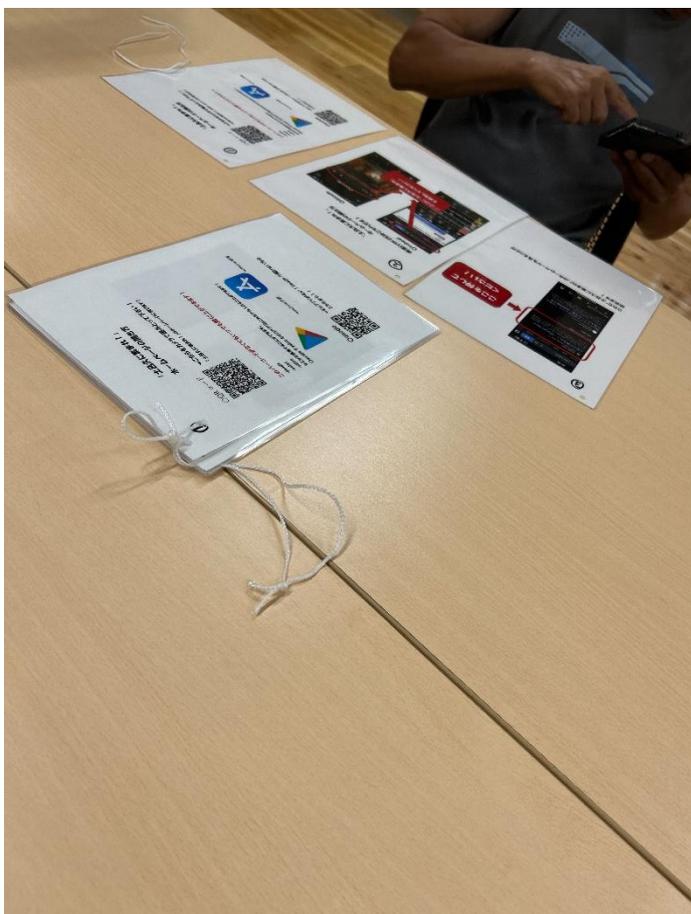
「なるほど！こうやって使うのか〜」「分かりやすいマニュアルをありがとう！」とたくさんの感謝の言葉を頂くことができました。

実は、今年から本プロジェクトに参加した濱口愛美さん(2年生)と舛永綾花さん(2年生)が、このマニュアルを作成してくれました。

私たちが読んでもとても分かりやすく、きっと二人で試行錯誤を重ねながら「地域の方々にもっと分かりやすく、サイトを使っていたきたい」という思いを込めて作ってくれたのだと思います。その気持ちは、地域の皆さんにもきっと伝わったことでしょう。

今回は二人とも土呂久に行くことはできませんでしたが、マニュアルを通してしっかりとプロジェクトに貢献してくれました。現地で活動した私たちも、その存在の大きさを強く感じています。直接顔を合わせての活動はできなかったものの、こうして形に残るサポートをしてくれる仲間がいることは本当に心強いことです。

次回の訪問や活動では、二人も現地に足を運び、地域の方々と交流しながら、自分たちの工夫がどのように役立っているのかを実感してもらえると嬉しいです。



打ち合わせに参加している、佐藤元生さん、佐藤和明さん、佐藤孝輔さん、工藤康太(2年生)、岩切うらら(4年生)、濱砂剛志(2年生)、上床晃汰(3年生) マニュアルを見ながらウェブサイトを開覧する佐藤元生さん